

□講義科目(専門科目)

科目名	ケアマネジメント 論	2 単位
担当者	上原 久(非常勤教員)	
テーマ	ケアマネジメントの理論と実際	
開講形態	全回対面形式	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 1. 多職種連携 2. ケアマネジメント 3. チームワーク</p> <p>&lt;内容の要約&gt; ケアマネジメントの概念, 歴史, 分類, 適応, 効果などの全体像を整理すると同時に, 多職種が協同して事例理解を深める方法や連携の在り方について, ケーススタディーを用いながら体験的に学ぶ。後半では, 介護支援専門員や相談支援専門員を招き, 実際の事例を題材に事例検討会形式で多職種による事例理解の深め方・目標設定の仕方・計画策定の方法など, ケアマネジメントの実践技術を学ぶ。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践技術としてのケアマネジメントについて理解できる。</li> <li>・連携の概念について理解できる。</li> <li>・多職種連携に不可欠な事例理解の深め方を理解できる。</li> <li>・情報共有の手法について理解し実行できる。</li> </ul>	
授業の進め方	<p>第 1 回 ケアマネジメントの概要と意義、歴史と類型</p> <p>第 2 回 インテーク、アセスメント、プランニング、</p> <p>第 3 回 モニタリング、インターベンション</p> <p>第 4 回 エバリュエーション、ターミネーション</p> <p>第 5 回 関連技術、スーパービジョン</p> <p>第 6 回 連携の関係性と質、チームワーク、</p> <p>第 7 回 ケア会議の必要性、ケア会議を構成する要素</p> <p>第 8 回 ケーススタディー①</p> <p>第 9 回 ケーススタディー②</p> <p>第 10 回 ケアマネジメントの実際①</p> <p>第 11 回 高齢者領域における課題</p> <p>第 12 回 ケアマネジメントの実際②</p> <p>第 13 回 障害者領域における課題</p> <p>第 14 回 その他の領域(就労・生活困窮者)における課題</p> <p>第 15 回 振り返りと総括</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>○指定したテキストを事前に読んでおくことが望ましい。</p> <p>○ソーシャルワーク論や保健・医療・福祉サービス論等の基礎的な科目に関する基本的な知識を前提として講義を進める。</p> <p>○毎回の授業終了時に、次回の資料や論文を配布するので読んでおくこと。</p> <p>○ディスカッションには積極的に参加すること。</p>	
本科目の 関連科目	ソーシャルワーク論、保健・医療・福祉サービス論、スーパービジョン論、地域福祉論	
テキスト	<p>①上原久:「ケア会議の技術2」(中央法規出版)</p> <p>②上原久:「見立てを深めるための事例検討会」(Next Publishing Authors Press)</p>	
参考文献	<p>①野中猛、上原久:「ケア会議で学ぶケアマネジメントの本質」(中央法規出版)</p> <p>②野中猛ほか:「多職種連携の技術」中央法規出版</p>	
成績評価方法 と基準	1回ごとのコメントカードの提示(20%)、ディスカッションへの参加度(20%)、提出レポート(60%)の方法で評価をおこない、全体で60%以上を合格とする。	